



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい(新築) | 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪市生野区中川2丁目 新築工事		
建設地	生野区中川2丁目		
建物用途	集合住宅		
建築主			
設計者			
竣工年	2027年9月 予定		
構造/階数	RC造 / 地上10階		
敷地面積	972.27 m <sup>2</sup>		
建築面積	420.94 m <sup>2</sup>		
延床面積	3345.13 m <sup>2</sup>		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p><b>B-</b> BEE = 0.9</p> <p>★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境品質 G vs 環境負荷 L</p>	<p>★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法</p> <p>このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。</p>	<p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 2.9</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.3</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.1</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> Q3のスコア = 2.2</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.0</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 2.9</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.1</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>内装はほぼ全般的にF☆☆☆☆を使用し、防汚性の高い建材・仕上げ材を採用しており、LED照明器具の採用など、環境に配慮した計画をしている。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>特にありません。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>化学汚染物質の抑制に配慮している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>給排水管の使用管材の耐久性に配慮している。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>敷地内の緑化に努めた。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>照明設備にLED照明を採用し、環境負荷が低減できるように配慮した。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>リサイクル資材を極力使用している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>隣地側にできる限り緑化を設け敷地外からの環境に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.2
配慮事項	ライフサイクルCO2排出量の低減を図っている。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.1
配慮事項	LEDの照明器具で設備システムの効率化を図っている。	

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

- ※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
- ※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
- ※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分(品確法等級) <b>等級4</b> (相当)	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ] -
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI] <b>0.88</b>	非住宅部分[BEI][BEI <sub>m</sub> ] -